

留学記 ニイハオ!

アモイ
中国廈門市
その3



第19期 海外留学生
が
ひましろ
比嘉 茉莉白



宜野湾市の皆さまこんにちは。この派遣留学も終わりに近づいており、いよいよ今回が最後のレポートとなりました。

聞けない、話せないからの挑戦

私は大学在学中に中国語を専攻していたため、すでにHSK※五級を取得していましたが、廈門に行った当初は全くと言っていいほど中国語が聞き取れなく、話すこともできませんでした。授業では先生方がゆっくり話してくれるため問題ありませんでしたが、地元の方々は話すスピードが早いうえ、訛りや方言があり、聞き取りづらい状況でした。

しかし、毎日中国語に触れ、積極的にコミュニケーションを取ることで、いつの間にか聞き取れるようになりました。発音はまだですが、日本語を介さずとも自然と中国語が出てくるようになり、自分でも驚くほど成長を感じています。中国では出前を頼むと「魔の電話」と言われるとても早口な電話がかかってきますが、それにも動じなくなりました。地元の方々が話す言葉は教科書では習わない表現が多く、語学は環境が大事だと改めて感じました。日本に帰国後は、ずっと目標としていたHSK六級を受ける予定です。

※HSKとは中国政府が認定する、中国語のコミュニケーション能力を測る国際的な試験です。レベルは初級レベルの1級から上級レベルの6級まで6段階に分かれています。

恐れずに飛び込んだ先で 廈門留学が教えてくれたこと

廈門へ留学してから、本当に多くの人と出会い、沢山の経験をさせていただきました。私がこの留学生活で学んだことは語学だけではありません。留学前は自分に自信がなく、危ない橋は渡らない、家で寝ていることが好きだった私でした。

しかし、「来都来了」せっかく中国へ留学したのだからと、日本では食べたことがないものを食べたり、毎日外に出て自ら積極的に行動したりと、失敗を恐れず何でも挑戦してみることを大事にしました。間違いなく、この留学は私の人生最大のターニングポイントとなり、この経験を通じて、大きく成長できたと実感しています。

これも全て、このような機会を与えてくださった宜野湾市のご支援、そして市民の皆さまのおかげです。本当にありがとうございました。この御恩を宜野湾市に還元できるよう頑張っていきたいと思っています。

①鶏の爪 ②臭豆腐 ③ザリガニ
④インターン先の運動会 ⑤年越しパーティー

